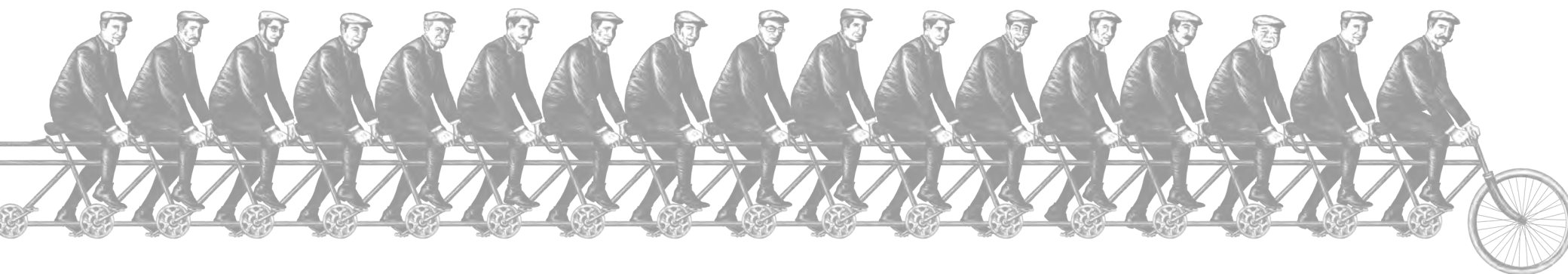


2021年12月期
決算説明会資料



証券コード：7128
2022年2月15日

 フルサト・マルカホールディングス 
MARUKA FURUSATO Corporation

目次



P.2 新グループの概要



- 2021年10月1日に経営統合
- セグメント概要(1) ←グループ子会社・セグメント概要
- セグメント概要(2) ←セグメント特徴

P.6 2021年12月期決算概要



- 当期決算に関する前提事項
- 2021年12月期決算の概要
- 業績推移(1)-統合会社連結売上高合算
- 業績推移(2)-統合会社連結営業利益合算
- セグメントごとの売上高/営業利益
- セグメント売上高推移(機械)
- セグメント売上高推移(工具)
- セグメント売上高推移(建設資材)
- セグメント売上高推移(建設機械)
- セグメント売上高推移(セキュリティ)
- 海外売上高の推移
- 貸借対照表
- 連結キャッシュフロー計算書
- 株主還元方針

P.21 2022年12月期業績見通し



- 業績見通しの前提
- 連結業績予想

P.24 グループの特徴



- ①強固な事業基盤
- ②独自の発想
- ③柔軟な思考・姿勢

P.28 Appendix



- フルサト工業連結業績推移
- マルカ連結業績推移
- 免責事項

新グループの概要

2021年10月1日に経営統合

社名	フルサト・マルカホールディングス株式会社
代表取締役会長	飯田 邦彦
代表取締役社長	古里 龍平
本社	大阪市中央区
資本金	50億円（2021年12月現在）
従業員数	1,972人（2021年12月現在）

主なグループ会社	
株式会社マルカ	産業機械、建設機械、海外子会社の親会社
フルサト工業株式会社	建築資材、配管資材
株式会社ジーネット	機工、機械、FAシステム、住宅設備機器、海外その他
岐阜商事株式会社	自動車向け機械工具、FAシステム
株式会社セキュリティデザイン	フィジカルセキュリティ
ソノルカエンジニアリング株式会社	機械・装置製造
株式会社管製作所	専用機械設計・製造
株式会社ミヤザワ	食品加工装置製造
北九金物工具株式会社	工具販売
ジャパンレンタル株式会社	建設機械レンタル・リース

グループ子会社・セグメント概要

機械・工具 セグメント

マルカ

- ・産業機械
- ・海外子会社

ジーネット

- ・工具、機械
- ・海外営業部

岐阜商事

- ・自動車向け工具

北九金物工具

- ・機械工具

ソノルカエンジニアリング/管製作所/ミヤザワ

- ・エンジニアリング、製造部門

建設資材 セグメント

フルサト工業

- ・建築資材、配管資材

ジーネット

- ・住宅設備機器

建設機械 セグメント

マルカ

- ・建設機械

ジャパンレンタル

- ・作業車等のレンタル





セキュリティ セグメント

セキュリティデザイン

- ・セキュリティ全般

セグメントの特徴

- 機械工具セグメントは最もシナジー効果の発揮が期待できる事業
- セキュリティ事業は独立セグメントとして設置
- 従来機械・工具セグメントに分類していた住宅設備機器事業は建設資材セグメントに分類

	市場	シェア	業界の特徴など
 機械工具セグメント	大	低	EV化・自動化等、変革が求められる分野 競争は激しく、景気変動の影響を最も受ける
 建設資材セグメント	小～中	高	ニッチマーケットながら、安定的なシェア キャッシュフロー創出力が高い
 建設機械セグメント	中	低	比較的成熟している業界 インフラ整備の現場など裾野が広い
 セキュリティセグメント	大	低	生産自動化、スマートファクトリー化など 他セグメントとのシナジー効果が高い

2021年12月期 決算の概要

2021年4月1日～2021年12月31日

当期決算に関する前提事項

- 経営統合による持株会社設立日：2021年10月01日
- 経営統合におけるみなし取得日：2021年11月30日
- 経営統合前の両社決算期：フルサト工業(3月決算)、マルカ(11月決算)
- 持株会社の決算期：12月決算



↓

当期決算(変則決算)

2021年12月期 決算の概要

●公表予想に対して、売上高、利益ともに若干の上振れで着地

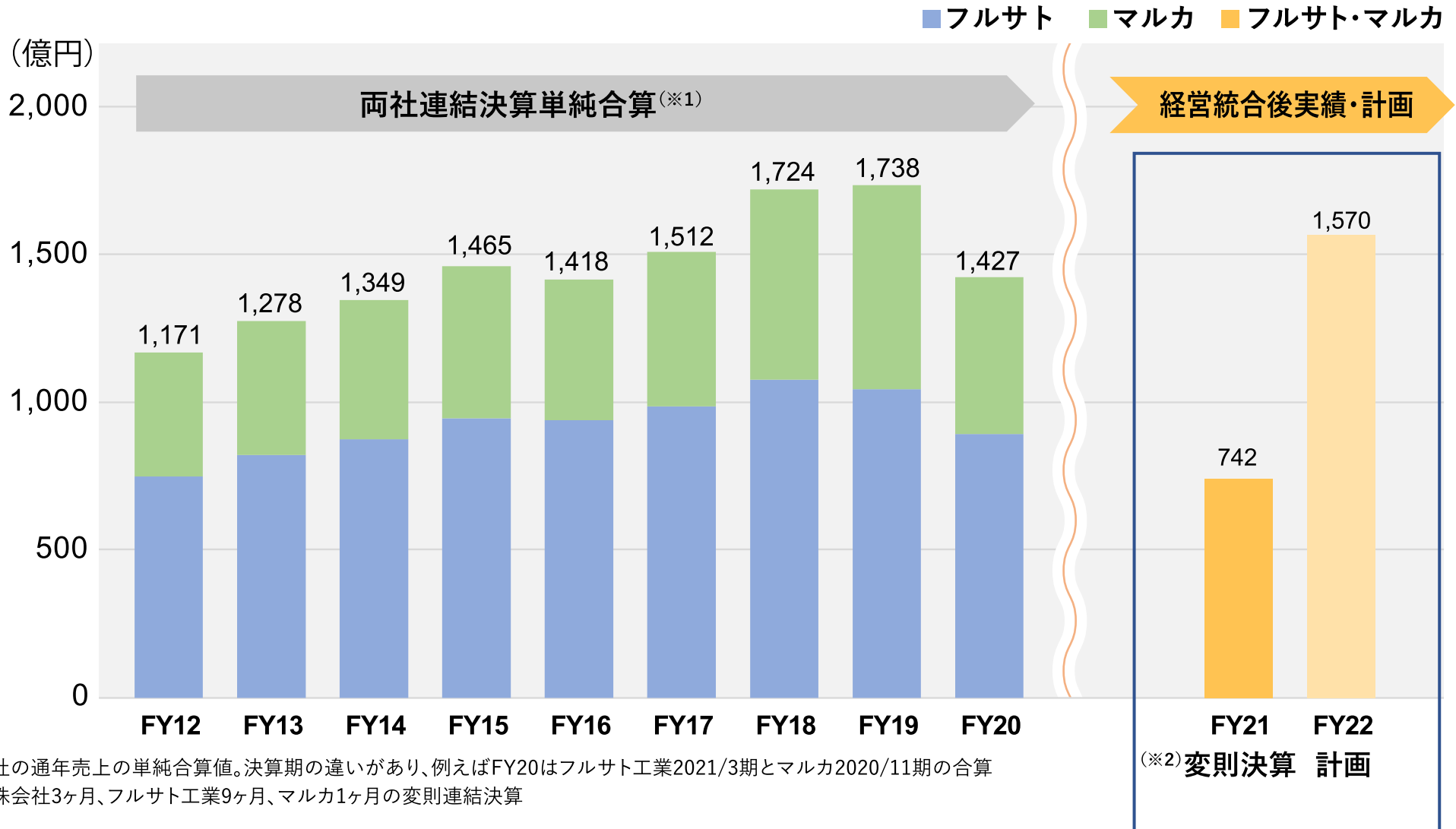
百万円

	公表 (2021/11/16)		決算 (2022/2/14)		差異
	計画	(%)	実績	(%)	
売上高	73,500	100.0%	74,292	101.1%	792
営業利益	1,250	1.7%	1,465	2.0%	215
経常利益	1,800	2.4%	2,033	2.7%	233
親会社株主に帰属する 当期純利益	900	1.2%	1,037	1.4%	137

※比率は売上高のみ公表予想対比・利益は売上高対比

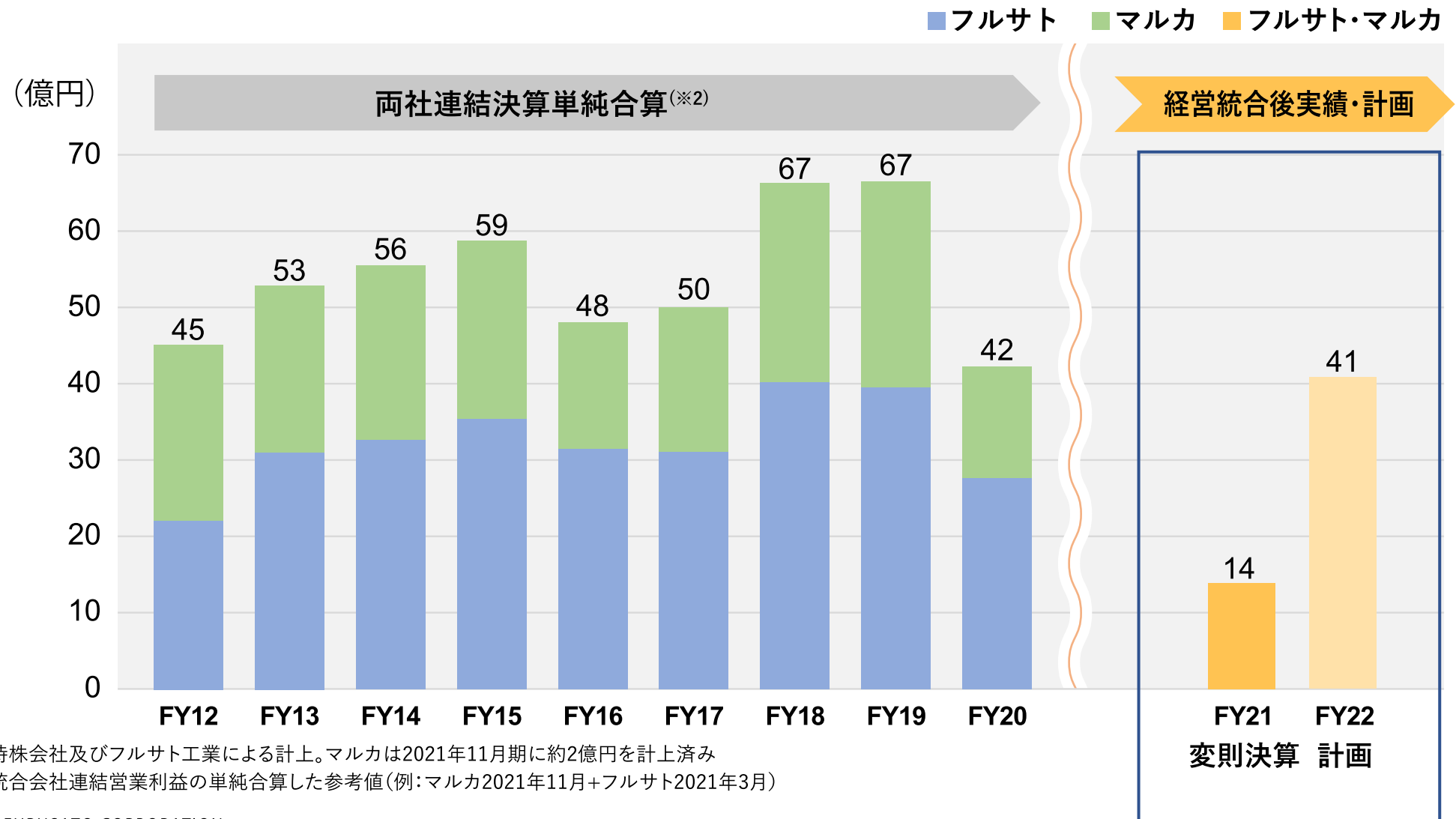
業績推移(1)-統合会社連結売上高合算

- 2021年度は変則決算
- 2022年度は2020年度のボトムを上回る計画



業績推移(2)-統合会社連結営業利益合算

- 2022年度は2020年度並みの着地を計画
- 2021年度は一過性及び構造改革費用7.6億円計上^(※1)(統合関連3.0、収益認識基準2.2、人事制度改革2.4)



セグメントごとの売上高/営業利益

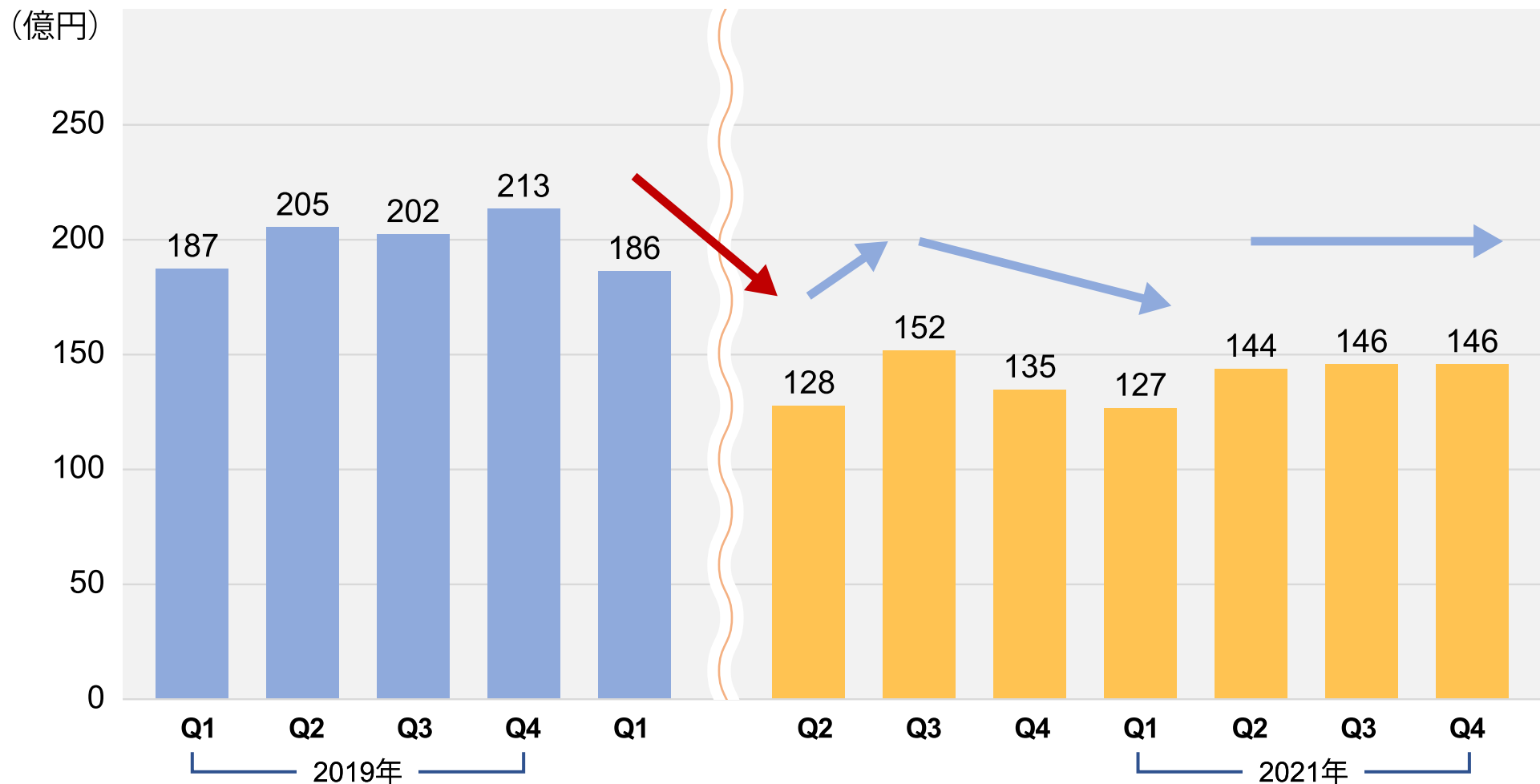
- 建設資材セグメントはコロナ禍の落ち込みから回復基調
- 建設機械セグメントは2021年12月の1ヶ月分の業績しか反映していないため売上高僅少(変則決算のため)

百万円

事業セグメント	売上高		営業利益	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機 械 工 具	42,698	57.5	191	13.1
建 設 資 材	28,880	38.9	1,269	86.7
建 設 機 械	425	0.6	▲ 32	-2.2
セ キ ュ リ テ ィ	2,287	3.1	0	0.0
調 整	-	-	36	2.5
合 計	74,292	100.0	1,465	100.0

セグメント売上高推移（機械）

- 2021年はコロナ禍による落ち込みから回復
- 国内外ともに受注には改善傾向。但し、半導体不足による納期遅延の影響で売上寄与は限定的

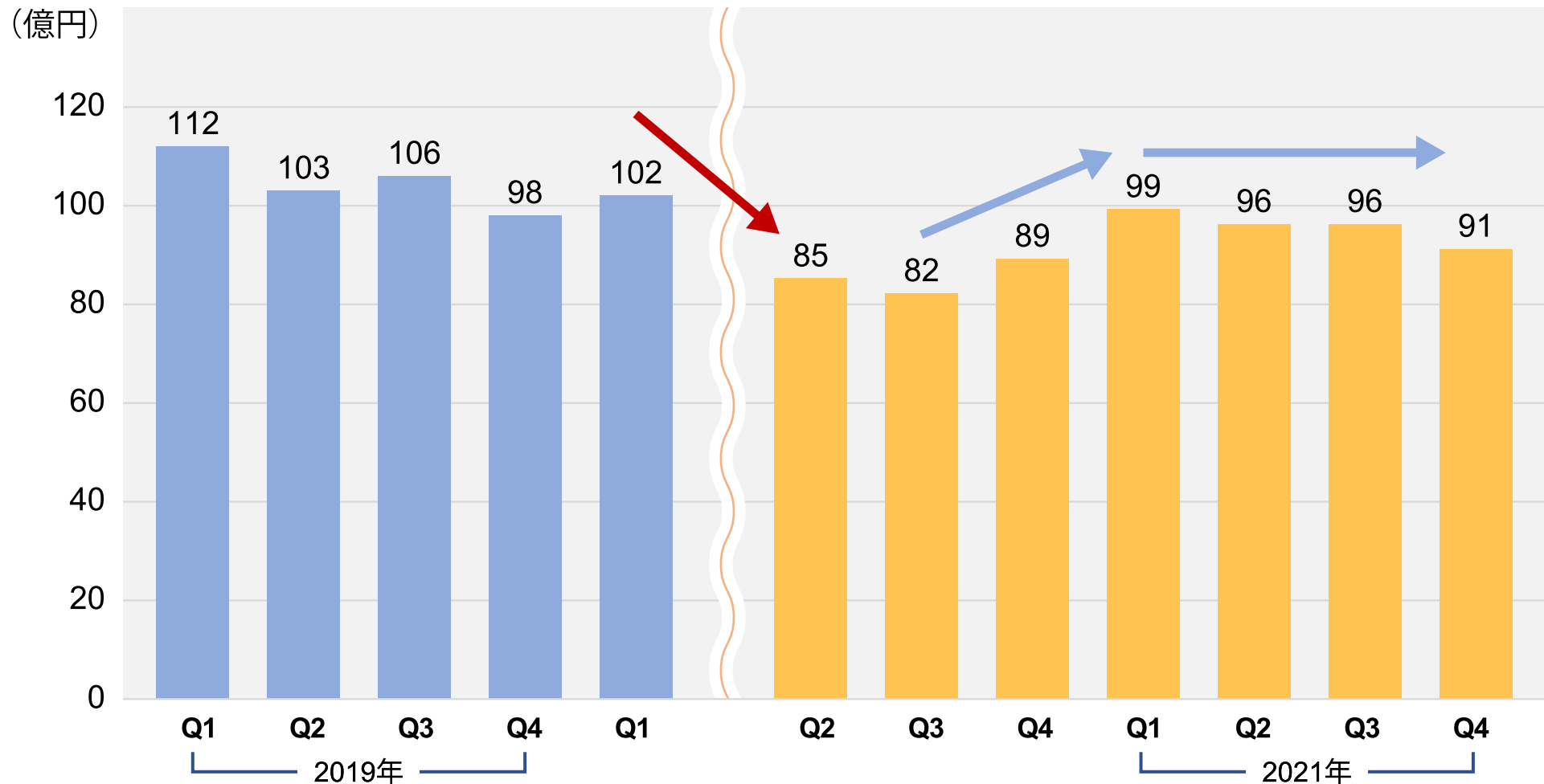


※1 マルカ産業機械及びジーネット工作機械、FAシステム事業売上高の合算

※2 四半期決算表記は暦年ベース。決算期差異を考慮し、2021年4Qはジーネット(2021年10月-12月)、マルカ2021年9月-11月)の合算

セグメント売上高推移（工具）

- 2021年はコロナ禍の落ち込みから回復傾向
- 製造業の実需回復で工具販売は上向き。但し、半導体不足による自動車メーカーの生産調整の影響で足許は若干落込み

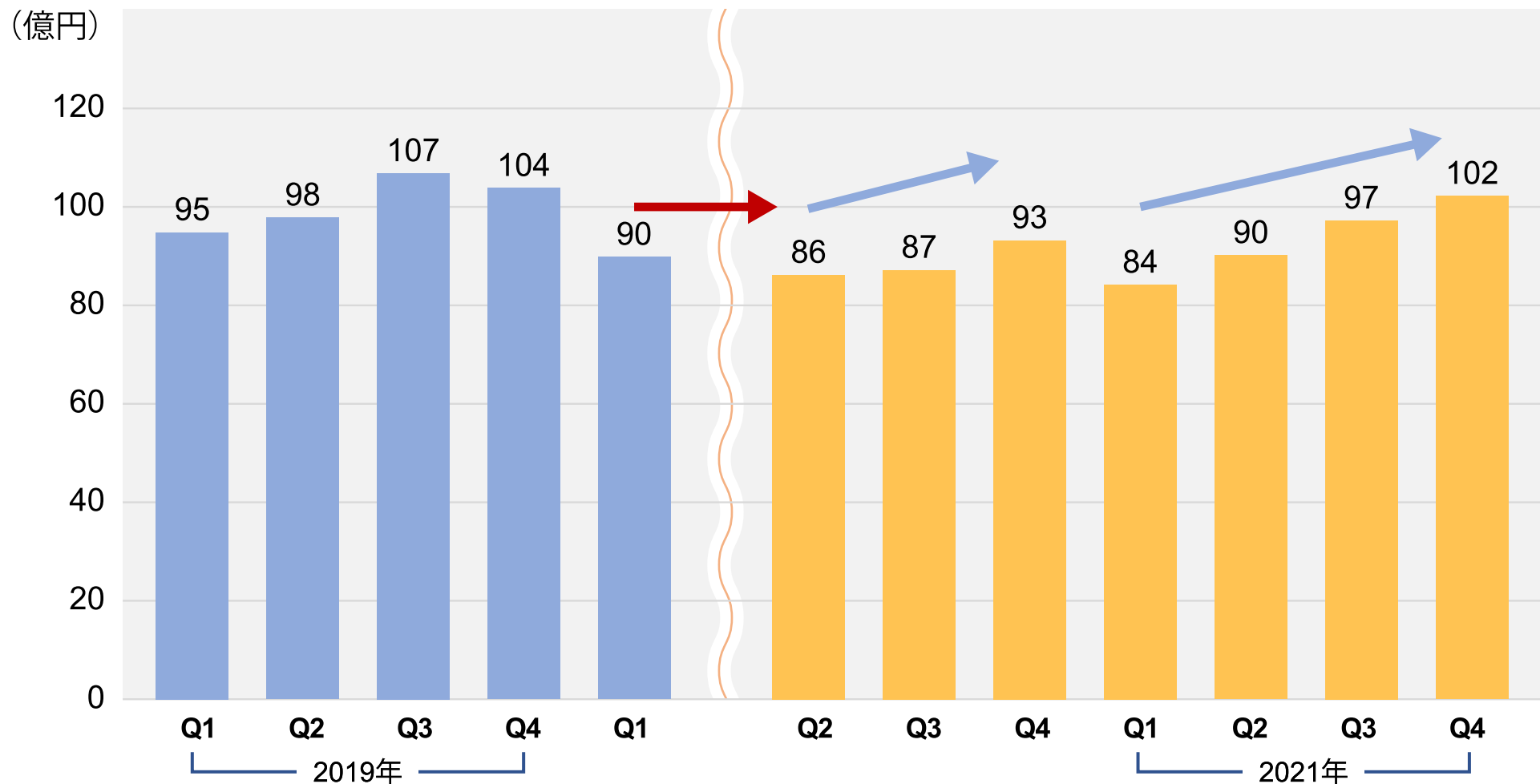


※1 ジーネット工業用機器事業及び岐阜商事自動車向け機械工具事業売上高の合算

※2 四半期決算表記は暦年ベース。

セグメント売上高推移（建設資材）

- 製造業の設備投資が再開。建築需要の増加、鋼材市況の上昇により堅調推移
- 住宅設備着工件数は持ち直したが、半導体不足の影響で資材調達に遅れ

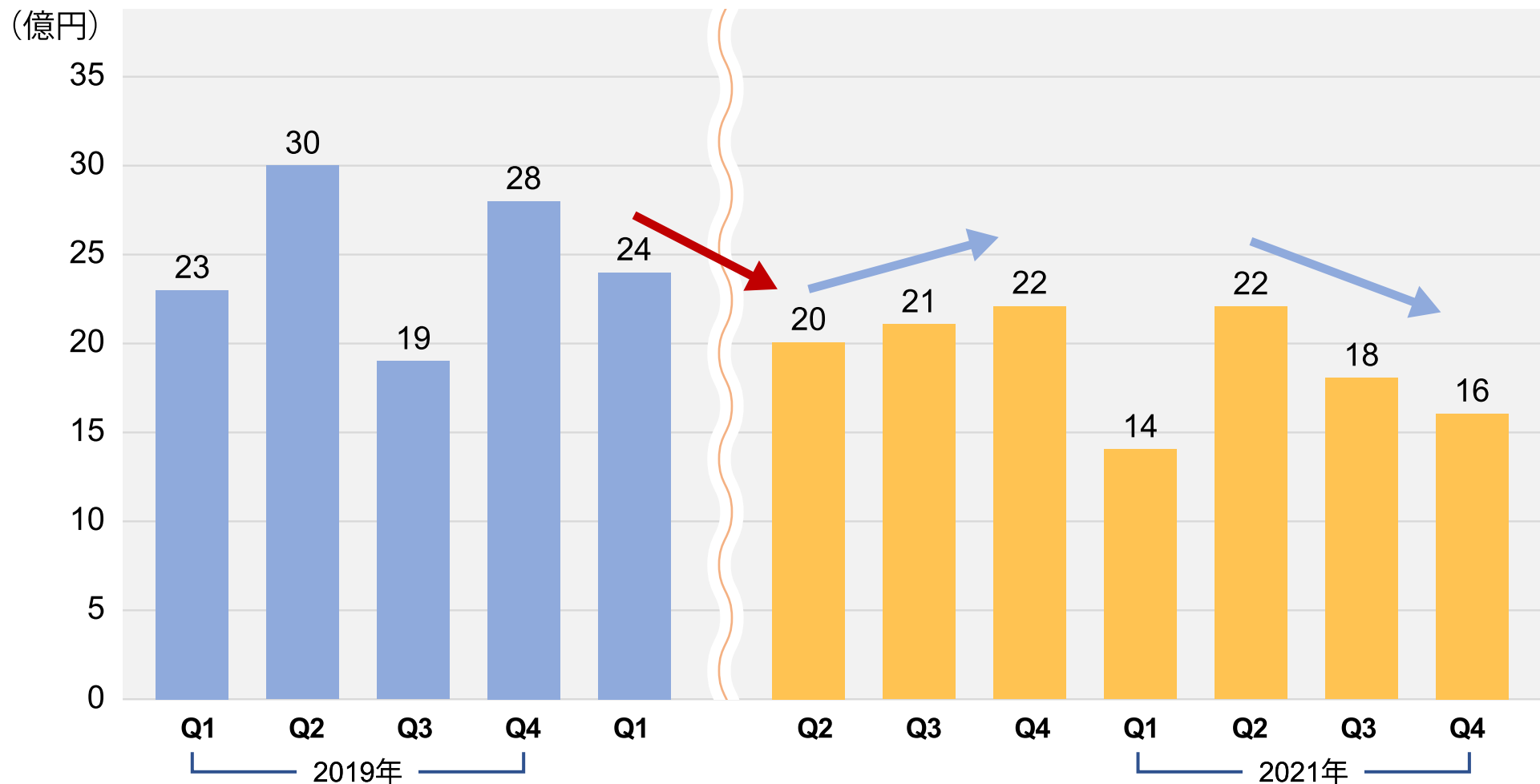


※1 フルサト工業建築資材、配管資材事業及びジーネット住宅設備事業の売上高合算

※2 四半期決算表記は暦年ベース。

セグメント売上高推移（建設機械）

- コロナ禍による投資手控えは継続
- 老朽化入替需要が一巡し、足許の更新ニーズ減少で需要弱含み

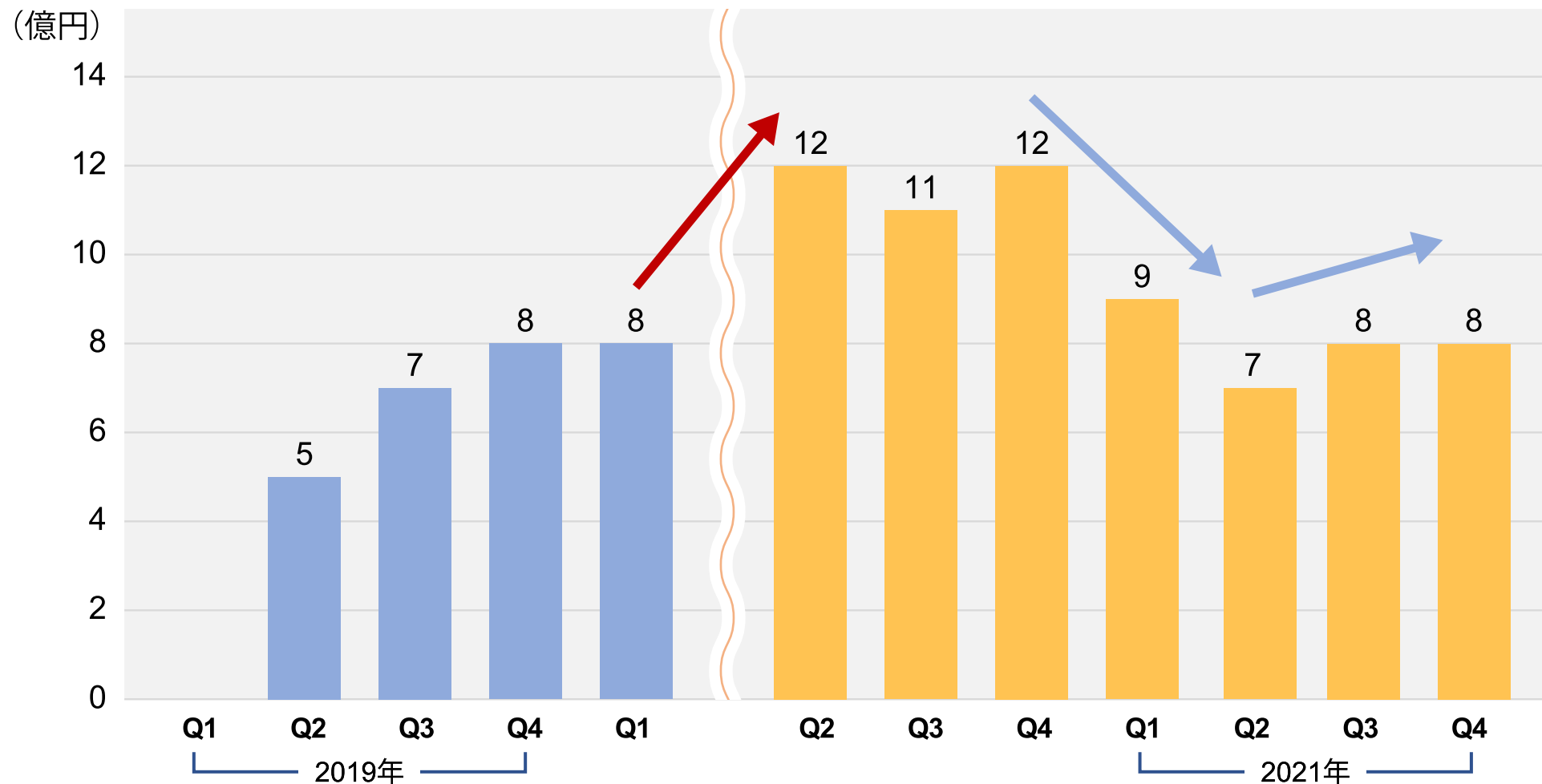


※1 マルカ建設機械売上高。

※2 四半期決算表記は暦年ベース。

セグメント売上高推移（セキュリティ）

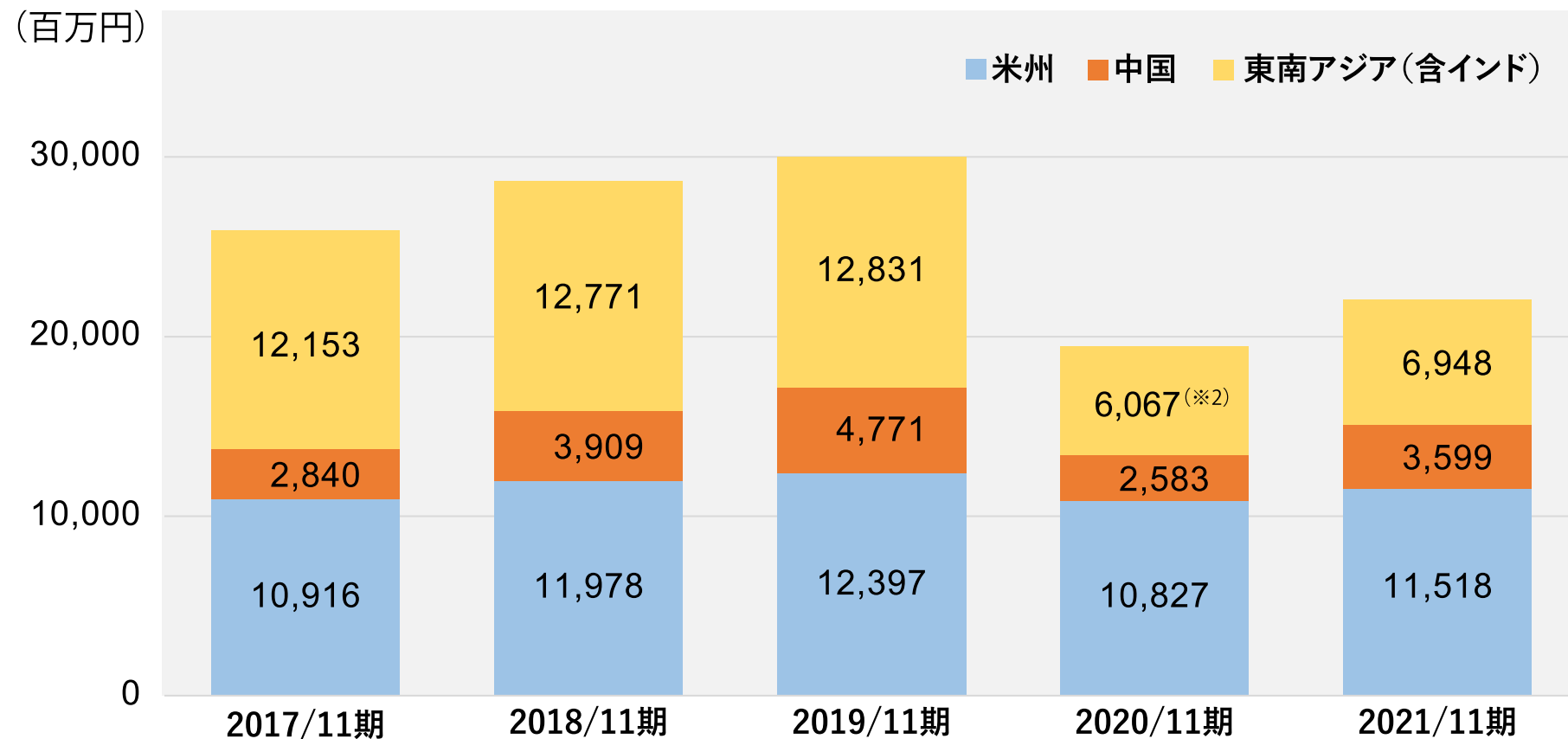
- 2021年は新型コロナ対応のサーマルカメラ特需が一巡
- 足下はコロナ前を上回る水準で推移



※1 セキュリティデザインの売上高推移(フルサト工業連結対象は2019年4月からのため、連結対象以降の売上高)

海外売上高の推移

- 2021年11月期までのマルカの海外地域別売上高
- コロナ禍の落ち込みから景気回復基調。受注は好調推移



※1 ここでの海外売上高は「国内売り・海外仕向け」を含む

※2 タイにおける自動車部品輸出事業撤退(2019年11月期売上高53億円)

貸借対照表

●2021年12月期が第1期のため、前期との比較は未掲載

百万円

資 産	2021/12期末	負債・純資産	2021/12期末
現 金 預 金	24,172	仕 入 債 務	31,818
売 上 債 権	38,350	短 期 借 入 金	496
そ の 他 流 動 資 産	15,854	そ の 他 流 動 負 債	7,194
有 形 固 定 資 産	20,484	長 期 借 入 金	378
無 形 固 定 資 産	2,541	そ の 他 固 定 負 債	1,337
投 資 そ の 他 資 産	7,189	負 債	41,233
総 資 産	108,594	純 資 産	67,361

連結キャッシュフロー計算書

●2021年12月期が第1期のため、前期との比較は未掲載

	2021年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 793
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 173
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 541
現金及び現金同等物に係る換算差益	16
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,491
現金及び現金同等物の期首残高	14,093
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	10,270
現金及び現金同等物の期末残高	22,872

株主還元方針

株主還元方針

- 当社は株主への利益還元を重視し、連結業績に連動した利益配分に基づき配当いたします。
- 連結ベース配当性向35%程度を基本とし、最低年間15円の安定配当に努めます。

配当金(予想・計画)

- 2021年度12月期における1株当たりの普通配当金は、14.5円(配当性向21.6%^(※1))を予定しております。
- 2022年12月期連結業績計画を前提とした1株当たり普通配当金は41.5円を予想しており、記念配当金50円^(※2)を加えた1株当たり配当金は91.5円(配当性向77.2%)を予想しております。

※1 配当金総額は当期純利益の35%。配当性向が21.6%となっているのは、統合期のため、配当性向を導く1株当たりの当期利益を算出する際に用いる期中平均株式数の算定方法が異なっているため

※2 2021年11月17日公表：経営統合、新規上場による記念配を計画

2022年12月期 業績見通し

業績見通しの前提

【外部環境】

- 民間設備投資 5.2%増（大和総研予測）
- 工作機械受注 6.5%増（内需は14%増）（2022年1月日工会 稲葉会長ご発言より）
- 建設投資 0.3%増（2022年1月 建設経済研究所）
- 建設機械出荷額 3.6%増（2021年8月 日本建設機械工業会）

【内部環境】

機械工具セグメントの機械の期首受注残は前期と比べ 40%増

連結業績予想

百万円

	2022/12 上期		2022/12 下期		2022/12 通期	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	77,000	100.00%	80,000	100.00%	157,000	100.00%
機械工具セグメント	56,160	72.94%	58,140	72.68%	114,300	72.80%
建設資材セグメント	18,500	24.03%	20,100	25.13%	38,600	24.59%
建設機械セグメント	4,430	5.75%	4,270	5.34%	8,700	5.54%
セキュリティセグメント	1,800	2.34%	1,800	2.25%	3,600	2.29%
営業利益	1,700	2.21%	2,400	3.00%	4,100	2.61%
機械工具セグメント	1,055		1,415		2,470	
建設資材セグメント	525		825		1,350	
建設機械セグメント	40		60		100	
セキュリティセグメント	105		145		250	
経常利益	1,950	2.53%	2,650	3.31%	4,600	2.93%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,250	2.21%	1,750	2.21%	3,000	2.21%

※売上高、営業利益ともセグメント予想は連結調整前

グループの特徴

フルサト・マルカグループ

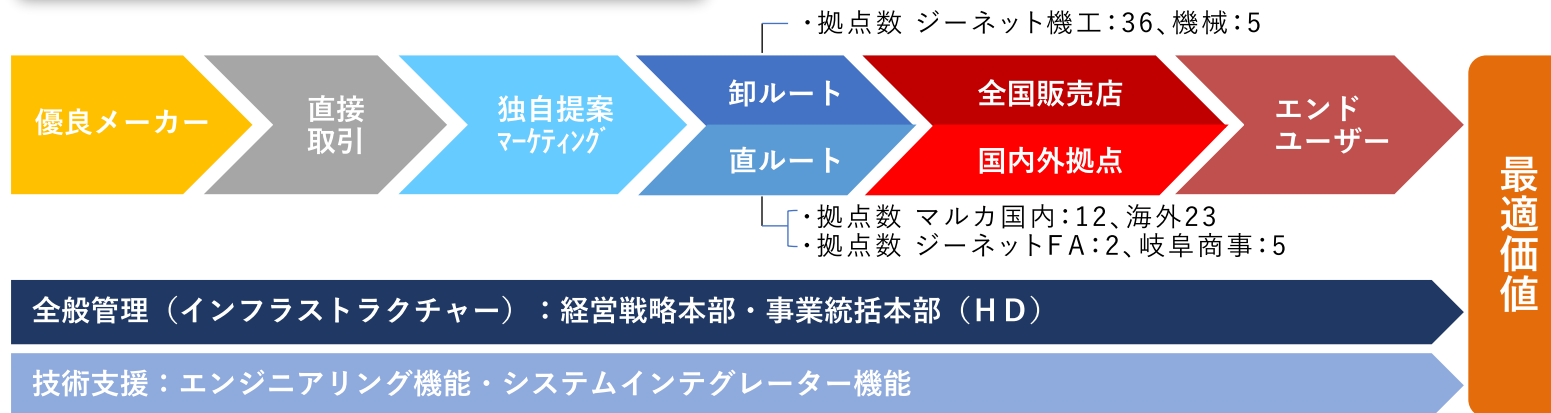
特徴①

1. 強固な事業基盤

メインとなる大規模ビジネス：機械・工具

国内外の製造業に係る巨大市場で無限の可能性を期待できる

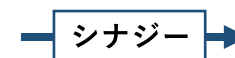
経営統合による強固なバリューチェーン



ニッチマーケットでの高シェアビジネス：建築資材

鉄骨建築資材のニッチな市場で高シェア商材、高いマーケットカバー率を持つ

- 高シェア商材：ブレース、ハイテンボルト等
- 高いマーケットカバー率：大半のプレーヤーと直接取引



- ① 配管資材 → サプライチェーン共有
- ② 住設システム → 川上・川下ビジネス連携

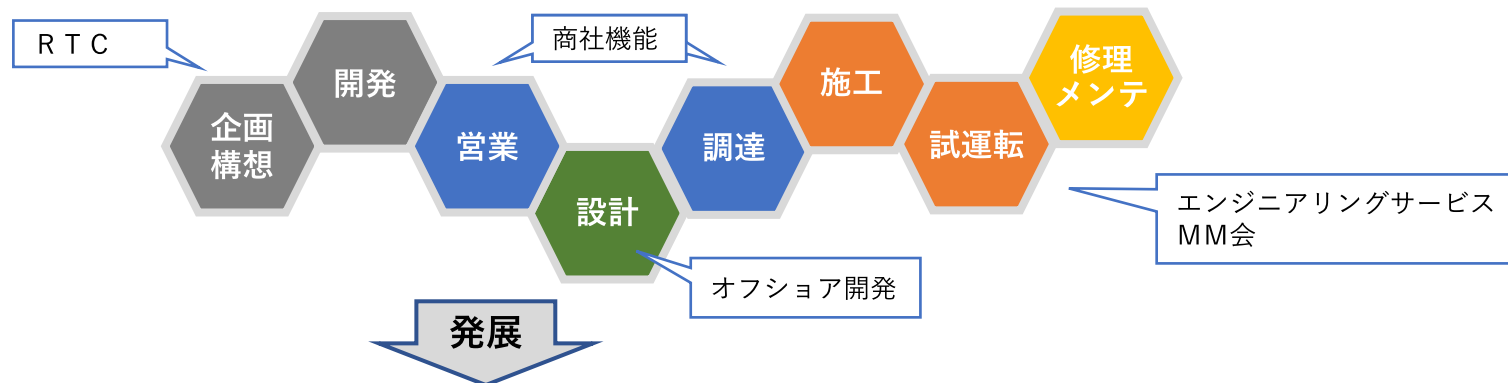
フルサト・マルカグループ

特徴②

2.独自の発想

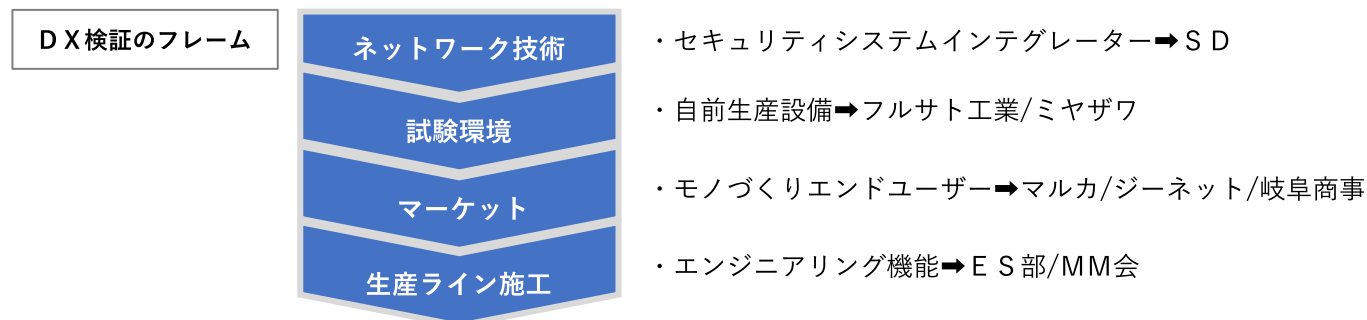
技術商社としてのプレゼンス

モノづくりを全力でサポートする技術商社としてのプレゼンスの確立を目指す



モノづくりIoTからスマートファクトリーへ

製造業のDX化検証を通じて将来のスマートファクトリー/デジタルツイン移行への準備を開始



注 RTC:ロボットテクニカルセンター
MM会:マルカ・マニファクチャラー会
SD:セキュリティ・デザイン
ES部:エンジニアリング・サービス部

フルサト・マルカグループ

特徴③

3.柔軟な思考・姿勢

必要な体制構築のための柔軟なアプローチ

ユーザーへの最適な価値提供による成長・発展のため必要とする枠組みや機能を手に入れることにフォーカスした最適な手段を選択してきた

- M & A ➔ ジーネット、岐阜商事、セキュリティデザイン
- アライアンス ➔ 日本電産シンポ、RTC（高丸工業）
- 経営統合 ➔ フルサト・マルカGrの形成
 - 連携 ➔ 各種クロスセル機会

◆ 今後も積極的に補完していく = プラットフォーム戦略

ユニークな発想を具現化する多様な人材への期待

ユニークソリューションを生み出すため柔軟な思考や発想をもつ人材を積極的に採用し、適切なポジションに登用していく

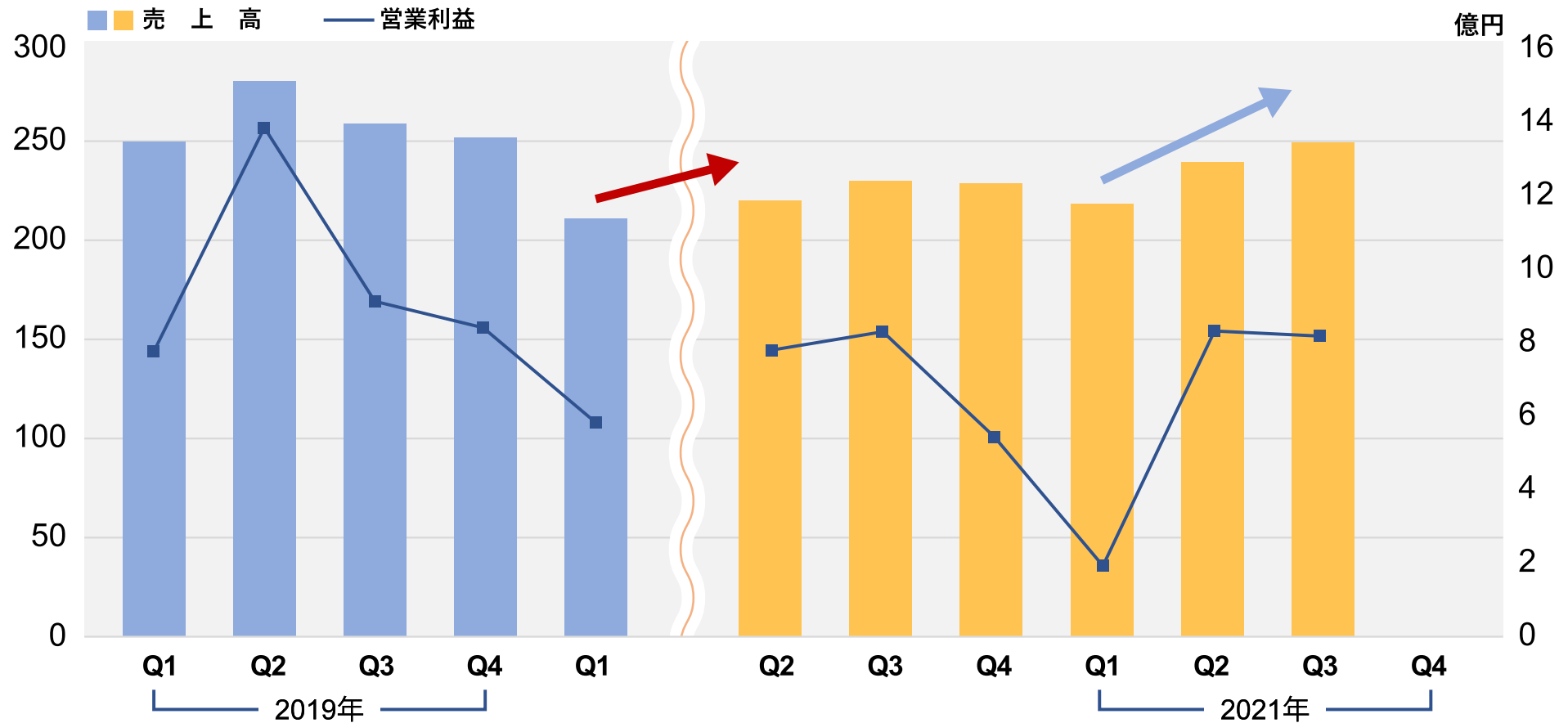
- ◆ 人事制度の適正化 ➔ 若年層への適正配分
- ◆ 公募・FA制度 ➔ 職務内容、勤務形態の選択肢
- ◆ 働く環境整備 ➔ テレワーク、時差勤務



Appendix

フルサト工業連結業績推移

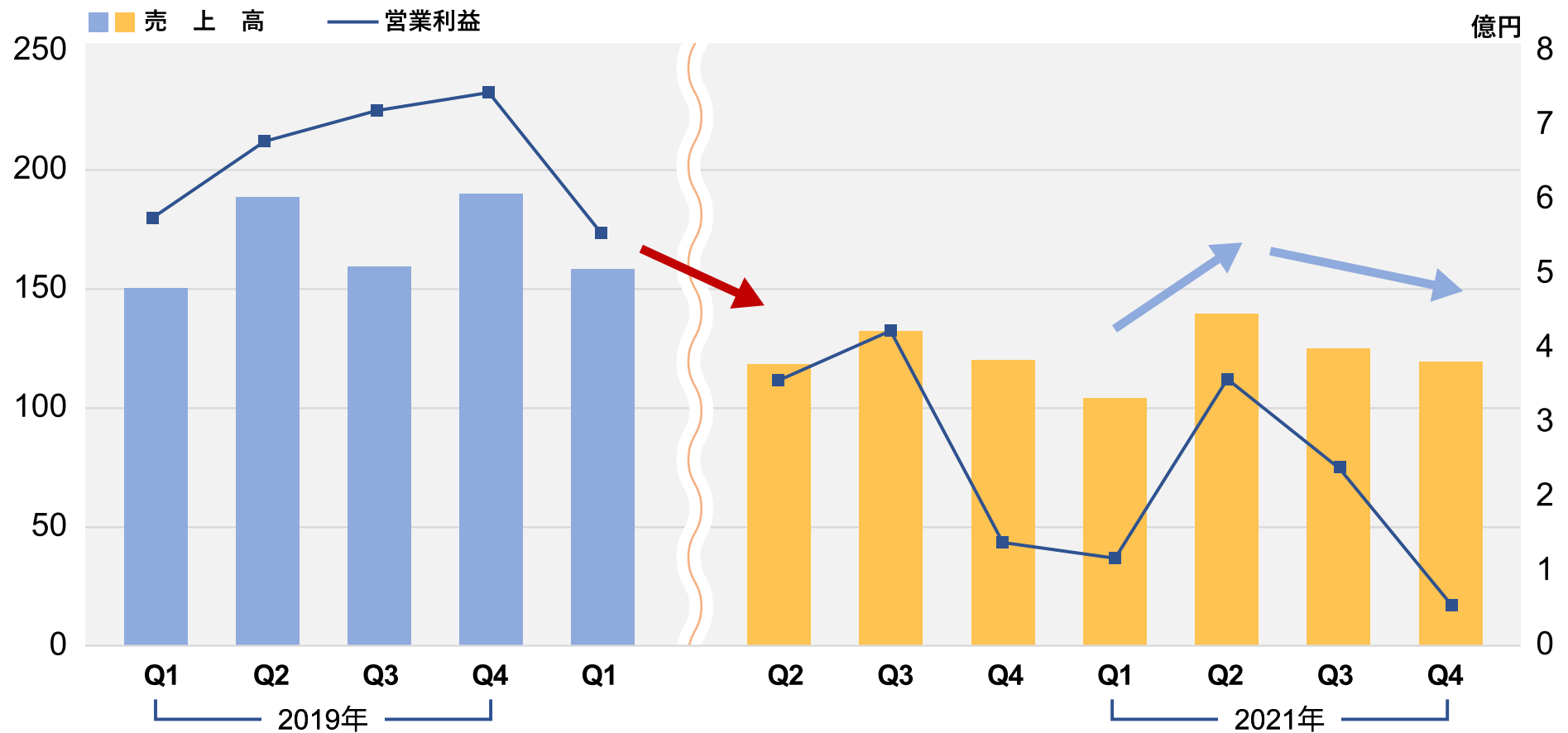
- 2021年度は経営統合、収益認識基準の変更、人事制度変更の影響あり
- コロナ影響からは回復傾向にあり、利益面でも上記減益影響をカバーし、改善傾向維持



	2019年				2020年				2021年			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	25,094	28,166	26,032	25,327	21,226	22,134	23,123	22,995	21,961	24,054	25,072	-
営業利益	788	1,406	926	853	591	794	842	551	195	844	830	-

マルカ連結業績推移

- 2021年第4四半期は経営統合費用約2億円を計上
- コロナ禍からの回復はまだ顕著ではないものの、国内外ともに受注は回復傾向



	2019年				2020年				2021年			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	15,108	18,954	16,018	19,117	15,933	11,890	13,310	12,083	10,457	14,053	12,578	12,010
営業利益	569	671	712	736	549	352	422	136	115	354	236	52

免責事項

本資料は、当社をご理解いただくことを目的に作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び、合理的であると判断する一定の前提に基づいた予測であり、実際の業績は、経営環境の変化や市場の動向等の要因により、これらとは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき下さい。ご利用に当たっては、ご自身の判断と責任においてなされることを前提としており、当社はいかなる場合においても責任を負いません。

フルサト・マルカホールディングス株式会社 広報部